

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

論述形式

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

大問4題、各問200字程度(総字数800字程度)

出題の特徴や昨年との変更点

時代では、例年通り古代・中世・近世・近代から1題ずつ出題された。分野では、政治・社会経済を中心に文化からも出題された。設問形式は、歴史事象の内容・特徴や影響を問う問題が3題(I・II・III)、歴史事象の変遷を問う問題が1題(IV)という構成になった。

その他トピックス

(II)は、2023年度河合塾テキスト基礎シリーズ『日本史 演習編』第4章基本問題6がズバリの中。(III)は、2023年度河合塾テキスト基礎シリーズ『日本史 演習編』第7章演習問題4がズバリの中。

<大問分析>

| 番号 | 出題形式 | 出題分野・テーマ | コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど) | 難易度 |
|-------|------------------|---------------|--|-----|
| (I) | 論述形式 (200字程度) | 古代 文化 | 正倉院宝庫の構造と正倉院宝物の特徴 正倉院宝庫の構造は、校倉造などの特徴を示すこと。なお、建築様式の特徴を論ずる問題は2017年度(大仏様の文化的特徴)にも出題された。正倉院宝物の中身は、鳥毛立女屏風や螺鈿紫檀五絃琵琶などの具体例をあげつつ、特徴は唐を中心に醸成された国際性などをふまえること。 | 標準 |
| (II) | 論述形式 (200字程度) | 中世 政治 | 蒙古襲来による鎌倉幕府の軍事・支配体制の変容とその影響 異国警固番役の強化や非御家人の動員などを述べた上で、影響として鎌倉幕府の軍事基盤である御家人制の動揺や得宗専制政治の確立について論じたい。 | 標準 |
| (III) | 論述形式 (200字程度) | 近世 政治・社会経済 | 田沼意次の経済政策とその効果 経済政策を単に羅列するのではなく、株仲間の大幅公認による運上・冥加の増収、専売制の強化、長崎貿易の拡大など、商業資本の活用により税収増加を実現した点を指摘したい。 | 標準 |
| (IV) | 論述形式 (200字程度) | 近代 社会経済 | 明治時代における鉄道業の展開 鉄道業の展開について、官営と民営の区分を明確にしつつ、明治初期(殖産興業期)・産業革命期・日露戦争後の3段階ごとに政治・経済的背景をふまえ論じること。なお、日露戦争後については南満州鉄道株式会社の設立にふれてもよい。 | 標準 |

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ①大阪大学の論述対策の基本は、歴史事象が生起する要因・背景やその影響・意義など、論述の基本知識を丁寧におさえていく日常の学習にある。教科書を熟読し、単なる用語の暗記ではなく、理解に重点を置いた学習を心がけること。
- ②時代では、古代・中世・近世・近代の各時代から1題ずつ出題されるのが基本なので、それを念頭に学習を行うこと。なお、原始・戦後についても一定の準備は怠らないこと。分野では、政治を軸に社会経済・外交・文化など他分野との関連を踏まえた学習に配慮すること。
- ③論述答案の作成力は一朝一夕には上達しない。設問文に込められた出題者の意図の読み取り方や答案作成の手法を身につけることが肝要である。論述の学習方針を早期に立てて市販の問題集や過去の問題を解き、できる限り添削指導を受けて自身の答案作成能力を点検すること。
- ④大阪大学では、近年過去の出題テーマと類似した内容の出題がみられる。過去の問題で扱われたテーマについてはしっかり学習しておきたい。